

第8回

# 文化芸術発表会



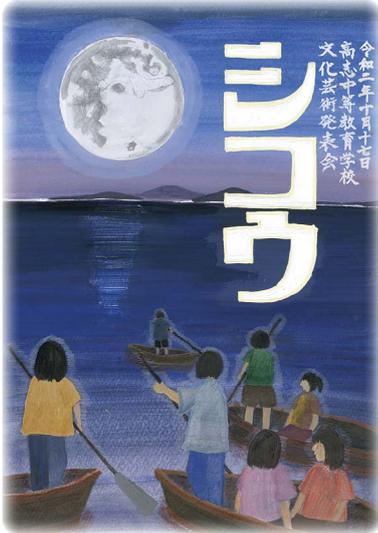
# 高志

第18号

令和3年3月2日  
新潟市立高志  
中等教育学校  
PTA

令和2年10月17日(土) オンラインで開催

各クラスが初めての動画制作にチャレンジ!  
～自由な発想を生かし、心を一つに完成をめざして～



リーフレット表紙

テーマは「シコウ」

全校生徒が「至高」に向かって「思考」「試行」「志向」しました



校長賞 4年3組  
「さがしています」



校長賞 ダンス部



グランプリ  
5年2組「夕幻香」



上映の様子



生徒会長賞 3年3組「恋の方程式」

## ご視聴くださった保護者の方の声

- どの映像も“シコウ”が感じられる素晴らしい作品でした。ただただ絶賛です。(メイキング動画が微笑ましかったです) また、視聴できるといいな。
- 率直に感じたのは、「このコロナ禍で行う発表会としては最高だった」ということです。生徒たちが力を合わせて作り込んだことがとても良くわかり、自然と笑顔になりました。真白な状態から何を伝えるのかというテーマから、表現の方法を導き出し、共有して形にするという、同じテーマで個々の作品を展示するいつもの文芸会より大変だったのではと想像させられました。皆さんの発想力とても素晴らしいです。楽しかったです。
- 各クラスとも特色があり楽しく視聴させていただきました。何もないところから作品として完成させる力があり、素晴らしいと思いました。デジタルネイティブ世代すごいですね!
- 構成が完璧で、中学生がつくったとは思えない作品でした。最初のスタートも「よくあるよね」と共感を覚えさせ、視聴者の心をよく掴みましたね。こんなに素敵な作品をクラス全体で作り上げたのだと感じ、いい思い出になったと思います。うらやましいです。
- 今回の動画は、とても楽しく見させていただきました。このような新しい試みは、子どもたちにとってよい経験になったと思います。
- コロナウイルスによる影響で、各種行事の運営が困難となる中、どのような形で開催する手法があるか、きっと葛藤や議論があったのではと想像いたします。その結果、完成した初の試み、映像による文化祭には、なるほど! その手があったのかと感心いたしました。内容も、各クラスによりアイデアと個性を感じ、ワクワクしながら楽しんで観ることができました。おそらく、完成までには多くの時間を費やし、何度も撮り直し苦労をしたのだろうと思うと同時に、全員参加で創り上げる喜びと達成感があり、まさに文化祭に適した手法だったのではと感じました。将来に向けて、必ず皆さんの糧になる1ページになったと思います。ほかのクラスの映像との違いなどディスカッションできると次へのステップアップができるのではないかと思います。楽しませてくれてありがとうございます。そして、ご苦労さまでした。



PTA事業

土曜活用

夢見る力の種を蒔く

教養委員会講演会報告

将来を見据えた多岐にわたる講座が数多く設けられ、計10回の実施で、延べ890人の生徒が参加しました。前号にひきつづき、9月からの実施の様子を、ごく一部ですがご紹介いたします。



12月5日 グローバルコンピテンスプログラム デモレッシン



9月12日 笑顔と健康の明るい未来社会をつくる  
～AIやITを活用した新しいものづくりの仕事～



12月5日 鳥屋野潟でゴミ拾いをしながら地域の問題を考える



9月19日 微生物が世界を支えている  
～実は目に見えない生き物が主役？～



12月19日 心理学に興味があるあなたへ  
～エゴグラムで自分のこころの特徴を知ろう～



新型コロナウイルスの影響が心配される中、九月五日に子育て支援講演会を行うことができました。講師に敬和学園大学教授、一戸信哉様をお招きし、「ネット社会を考える」と題してご講演いただきました。  
現在のネット社会では、情報を受け取るだけでなく誰でも簡単に情報を発信することができ、とても便利です。しかし、根拠のない噂や間違った情報があふれていることや、セキュリティやプライバシーに注意を払わずにいると犯罪につながりかねないということを、具体的な事例を挙げながら、お話いただきました。

ネット社会において、子どもが被害者にも加害者にもならないために、自分の意志で情報を選択し使いこなす能力、ネットリテラシーを学び、身につけていく事が重要だとわかりました。私自身、進んでいくネット社会に対し、分らないからと目を背けず、しっかりと向き合い、子どもと一緒にネットリテラシーの知識と関心を深めていかなければならないと思いました。

編集後記

今年度の広報誌は、コロナ禍による休校やPTA行事の縮小や中止から、十七号は大幅な誌面の縮小をしての発行でした。今回は印刷配布をやめ、ホームページ、クラッシュでの配信という形で発行させていただきました。  
オンライン上で行われた文芸会について、保護者の皆様の感想や土曜活用の様子等を紹介させていただきました。  
来年度からはまた違った形でPTAの活動を皆様に広報できるように話し合いを進めてまいります。

ご多用の中、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。